

総務部防災安全課

1 非常備消防関係

(1) 消防団

ア 団員異動状況（令和5年3月31日現在）

分団数	団員数			定員
	入団	退団	現員	
28分団	12人	29人	513人	544人

イ 行事

随時 防火・防災予防広報（自治会、イベント等）

ウ 消防団員教育訓練

鳥取県消防学校入校によるもの

- a 4月16日～17日 基礎教育（第75期）
- b 5月14日～15日 消防操法指導科（第45期）
- c 8月20日 警防科（51期）
- d 9月10日 機関科（57期）
- e 11月26日・27日・12月4日 応急手当普及員養成講習
- f 2月11日・12日 応急手当指導員養成講習

エ 報酬及び費用弁償

（単位：円）

階級 区分	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬年額	82,500	69,000	50,500	45,500	37,000	37,000	36,500
機関員加算	ポンプ自動車機関員報酬年額			13,300			
	可搬ポンプ機関員報酬年額			7,800			
費用弁償	出場、訓練、警戒等 1回につき			2,800			

オ 表彰等（主なもの）

表彰等の種類		階級	氏名
消防庁長官表彰	永年勤続功労章	分団長	上杉次郎
		分団長	北國壽太郎
日本消防協会会長表彰	功績章	副団長	吉田力
		副分団長	鶴田尚美
	精績章	分団長	田川文男
	勤続章	分団長	吉岡尚
		分団長	北國壽太郎
		副分団長	安達俊之
	部長	八幡明好	

表彰等の種類		階級	氏名
日本消防協会会長表彰	勤続章	部長	浦木 肇
		部長	松原 浩
		部長	田中 照男
鳥取県知事表彰	功労章	分団長	吉岡 尚
		分団長	上杉 次郎
		分団長	末次 誠
		副分団長	山尾 孝範
		副分団長	大上 透
		副分団長	木下 成安
	功績章	団員	尾沢 昭雄
		班長	緒形 太志
		団員	出来 嘉正
鳥取県消防協会会長表彰	功労章	副分団長	福島 公明
	功績章	部長	福田 浩志
		班長	石川 達也
		班長	畠山 利幸
		班長	緒形 太志
		班長	元関 正樹
		班長	阿部 裕郎
		班長	渡部 達也
		班長	本田 明広
		班長	原田 明
		班長	矢倉 克彦
		班長	岩田 輝男
		班長	木村 一彦
	班長	森高 好行	
	勤続賞	分団長	川上 貴志
		副分団長	鷺見 幸治
		部長	島雄 和彦
		班長	富田 憲治
		班長	濱本 容大
班長		舘上 孝司	
団員		富山 賢一	
機能別	湯浅 信二		

(2) 消防施設関係

ア 消防水利施設整備

火災発生時に迅速・的確な消火活動を行うため、上水道消火栓の増設、補修を行った。

(ア) 上水道消火栓増設

(イ) 上水道消火栓補修

2 防災関係

(1) 県内統一土砂災害防災訓練

県と連携した土砂災害に係る情報伝達訓練を実施した。

実施日 令和4年6月1日（水）
実施場所 防災安全課
参加者 防災安全課員

(2) 防災安全課図上訓練

大雨を想定し防災安全課員を対象とした図上訓練を実施した。

実施日 令和4年6月14日（火）
実施場所 防災安全課事務室
参加者 防災安全監、防災安全課員（10名）、地域振興課（1名）

(3) 避難所運営要員研修

職員を対象とした避難所開設訓練及び運営訓練を実施した。

実施日 令和4年6月8日（水）、9日（木）
実施場所 明道公民館

(4) 米子市役所防災訓練

地震災害を想定し職員を対象とした参集訓練及びシェイクアウト訓練を実施した。

実施日 令和4年10月6日（木）
実施場所 米子市役所本庁舎、第2庁舎、淀江支所、ふれあいの里、中央ポンプ場（下水道部）、水道局
参加者 参集訓練 142名、シェイクアウト訓練 勤務に支障のない職員全員

(5) 米子市防災訓練（住民参加訓練）

地震災害を想定し住吉地区住民を対象とした避難所開設訓練、避難訓練及び防災体験イベントを実施した。

実施日 令和4年10月14日（金）避難所開設訓練
令和4年10月15日（土）避難訓練、防災体験イベント
実施場所 住吉地区、住吉公民館、住吉体育館
参加者 避難訓練等：約180人（参加機関等含む）
防災体験イベント：約70人
住吉地区自治連合会、米子警察署、米子消防署、陸自第8普通科連隊、米子水道局

(6) 防災ラジオ事業

令和2年度調達に係る防災ラジオ放送受信機の在庫により貸与事業を継続した。

ア 防災ラジオ放送受信機の貸与状況

〈令和5年3月31日時点〉

区分	貸与先	貸与台数
有償	一般世帯（優先的貸与）	143
	一般世帯（一般貸与）	1,908
	事業所及び自治会	428
無償	自治会（又は自主防災組織）	414
	消防団	33
	公民館（戸別受信機未設置）	20
	指定避難所等	131

区分	貸与先	貸与台数
無償	地区社会福祉協議会の代表者	29
	在宅福祉員の地区代表者	29
	経済的に困窮する視覚障がい者（1級・2級）	132
合 計		3,265

(7) マンホールトイレ整備事業

災害発生時のトイレ環境の充実を図る観点から、下水道部と連携し、鳥取県地震想定で比較的被害が見込まれている地区（明道、就将、啓成、車尾、成実、住吉）の大規模避難所を対象として令和3年度からマンホールトイレの整備を年次的に進め、令和4年度に完工した。当課は、上物（便器、テント、送水ポンプ、送水ホース等）を配備した。

整備年度	避難所	障がい者用	一般用
令和3年度	明道小学校	2基	6基
	啓成小学校	2基	6基
	東山中学校	2基	6基
	住吉小学校	2基	6基
令和4年度	就将小学校	2基	6基
	成実小学校	1基	3基
	ふれあいの里	2基	6基
合 計		13基	39基

(8) 防災啓発

災害時の避難行動について、一層の啓発を図るため、「よなご わたしの避難ノート」を49,000部作成し、令和5年3月に全戸配布、公民館等に配架した。

(9) 災害時協力協定の締結

締結日	相手方	協定名
R4.5.27	(株)ほっかほっか亭総本部	災害時における物資の供給に関する協定書
R4.5.12	(株)米吾	災害時における協力に関する協定書
R4.6.14	山陰信販グループ	米子市と山陰信販グループとの包括連携協定書
R4.6.7	損害保険ジャパン株式会社	米子市と損害保険ジャパン株式会社との災害対応力向上に関する協定書
R4.6.20	(株)鳥取西部ジェイエーサービス	災害時における避難所としての施設利用に関する協定書
R4.9.1	山陰福山運輸株式会社	災害時における物資輸送等に関する協定書
R4.11.14	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	水害発生時の共同取組に関する協定書
R4.12.16	特定非営利活動法人皆生ライフセービングクラブ	皆生ライフセービングクラブと米子市との災害時における相互協力に関する覚書
R5.2.1	(株)アクティオ	災害時における資機材貸与の協力に関する協定書
R5.2.17	日産自動車株式会社ほか	電気自動車を活用した災害連携協定書

3 災害関係

(1) 8月20日 大雨

- ・大雨（浸水害）警報、洪水警報
- ・米子市災害警戒本部設置（20日）
- ・被害状況 住家・人的被害なし
- その他 彦名町、祇園町で定置ポンプによる排水実施

(2) 9月5～6日 台風11号

- ・暴風警報、波浪警報（6日）
- ・米子市災害警戒本部設置（6日）
- ・被害状況 住家・人的被害なし
- その他 淀江町稲吉地区で短時間停電が発生
彦名町：北公園墓地入り口で、市道に民有地から倒木。
陰田町：錦海団地西入口付近の私道に落石。

(3) 9月17～20日 台風14号

- ・暴風警報、大雨（浸水害）警報（20日）
- ・米子市警戒本部設置（20日）
- ・自主避難所（13か所）開設（20日） 自主避難者2名（五千石1名、啓成1名）
- ・被害状況 住家・人的被害なし
- その他 長時間停電（20日） 赤井手、福万、淀江町佐陀、加茂町、角盤町周辺、市役所本庁

(4) 1月24～25日 大雪

- ・大雪警報、波浪警報（24～25日）
- ・米子市豪雪警戒本部設置（24～25日）
- ・被害状況 住家・人的被害なし
- その他 停電、通行止め（9号線、山陰道、米子道）、公共交通機関運休（JR、ANA、バス）

(5) 1月27～28日 大雪

- ・大雪警報（28日）
- ・米子市豪雪警戒本部設置（28日）
- ・被害状況 住家・人的被害なし、農作物に被害
- その他 停電、公共交通機関一部運休（JR、ANA、バス）

4 防犯対策関係

米子市防犯協議会総会

令和4年7月1日、米子市立図書館多目的研修室で開催した。

- | | | |
|-------|---------|-------------------|
| 会 長 | 奥 田 登 | （米子市自治連合会長） |
| 副 会 長 | 新 見 博 士 | （米子市自治連合会副会長） |
| 〃 | 田 後 良 文 | （米子市社会福祉協議会長） |
| 〃 | 大 塚 秀 策 | （米子市学校校外指導連絡協議会長） |

5 水難事故防止対策関係

(1) 米子市水難防止協議会総会

令和4年7月5日、米子市立図書館多目的研修室で開催した。

会 長 伊 木 隆 司 (米子市長)

副 会 長 奥 田 登 (米子市自治連合会長)

(2) 広報用チラシ・ポスターの配布

ア 広報用チラシを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園に人数配布した。

イ 広報用ポスターを市内小・中学校、高校、幼稚園、保育園、公民館に掲示した。

6 米子市防災会議

令和4年8月26日、米子市立図書館多目的研修室で開催した。

米子市地域防災計画及び広域住民避難計画の修正を行い、計画を見直した。

7 原子力防災関係

(1) 安全協定の改定

令和4年4月8日に鳥取県、米子市、境港市及び中国電力(株)の4者間で締結している「島根原子力発電所に係る鳥取県民の安全確保等に関する協定」を改定した。

(2) 防災訓練の実施

万が一島根原子力発電所において緊急事態が発生した場合に、住民避難を迅速かつ的確に実施し、住民の生命、身体等を保護する目的で、鳥取県、島根県、島根原発関係市及び関係機関と合同で、原子力発電所事故の通報を受けた後の初動対応訓練を実施した。

ア 初動対応訓練

実施日 令和4年11月7日(月)

実施場所 市役所本庁舎

参加者 市長、関係幹部

イ 住民避難訓練

実施日 令和4年11月12日(土)

実施場所 河崎地区、東伯総合公園、北栄町各避難所

参加者 約70人(住民35人)

ウ 原子力防災講座

実施日 令和4年10月29日(土)

実施場所 河崎公民館

講師 鳥取大学 研究推進機構

研究基盤センターアイソトープ管理部門 理学博士 中山 祐二氏

参加者 河崎地区住民 17人

エ 船舶を利用した避難訓練

実施日 令和4年8月9日(火)

実施場所 境港竹内岸壁～鳥取港

参加者 訓練担当職員1人

(3) 原子力防災講演会の開催

開催日 令和4年7月30日(土)

会場 国際ファミリープラザ 2階ファミリーホール(ライブ配信による受講可能)

講師 福山大学 名誉教授・工学博士 占部 逸正氏